

科目名	日本経済史	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Japanese economic history	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	たかちほ やすなが	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中
担当者名	高千穂 安長	修得単位	2 単位
授業のテーマ	古代日本から平成までの日本経済の推移を理解し、その過程でどのような仕組みで経済が動いているのかを理解することにより、的確な判断がくだせるようになる。		
到達目標	日本の古代から現代までの日本経済について概要を話せるようになる。 メディアの報道に対して一定の理解ができるようになり、相応の意見を言えるようになる。		
授業概要	経済に焦点をあて、古代から平成までの日本経済の発展について理解していく。その過程で、政治、外交などについても理解をしていく。		
授業計画			
第1回	イントロダクション	日本経済史 I で学ぶこと、成績評価等の解説	
第2回	古代の日本経済		
第3回	中世の日本経済		
第4回	室町～安土桃山時代の日本経済		
第5回	江戸時代の日本経済		
第6回	明治 日本版産業革命		
第7回	日清・日露戦争～第二次世界大戦		
第8回	戦時経済体制		
第9回	第二次世界大戦後の占領・復興		
第10回	国際社会への復帰と経済 ブレトンウッズ体制		
第11回	高度経済成長		
第12回	新国際秩序 ブレトンウッズ体制の崩壊		
第13回	日本的経済システム		
第14回	現代の日本経済		
第15回	総復習	学生の理解が低い箇所について解説	
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	授業前に各授業時に配布されるレジュメについて目を通しておく 分からないことは自分なりに調べておく		
履修条件 受講のルール	特にシークエンス条件はないが、日本の地理・地勢的な状況等を地図で調べておくのが望ましい。		
テキスト	毎回、次回講義レジュメを配布する。		
参考文献・資料	橋本寿朗 2000 『現代日本経済史』 岩波書店		
成績評価の方法	出席が2/3に満たない場合は受験を認めない。また、遅刻は1回につき1/3欠席とする。 成績評価は、受講態度(含討議参加度)など平常点40%、期末テスト40%、ミニテスト等20%とする。 出席が規定に満たなかった場合、授業料その他納入金が未納の場合は試験を受けることができません。		
オフィスアワー	集中講義時間はいつでもオープン		
成績評価基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		

学生への
メッセージ

歴史は「過去の教訓」を学ぶことであり、現在の世界経済の中心の一つで、第二次大戦後奇跡的に短期間で復興・発展を遂げた日本の経済の発生から現代までの変化を学ぶことは今後の社会人生活に役立つことが多い。大いに興味を持ち、関連したニュースなどにも注意を払うことが望ましい。